

「第11回 Jichi Joy Café」開催結果報告

2019年度テーマ「多様なキャリアを理解し合う In The Jichi」

9月17日(火)に「第11回 Jichi Joy Café」を開催しました。

今回は、「医療人としてのキャリアビジョンを考える」というテーマで外部講師を招いて講演会形式で実施致しました。講師は新潟大学地域医療境域センター・魚沼基幹病院の産婦人科部長、鈴木美奈先生です。鈴木先生は国境なき医師団として海外でのご活躍経験があり、それらの貴重なご経験を多くの写真をまじえて御講話頂きました。夢をもって努力すること、感謝の心を忘れないこと、スタッフと協力して診療にあたる姿勢など、医療人として本来あるべき姿をメッセージとして残して頂きました。今回は医学部生の参加も多く、「夢を与えて頂いた」「先生のお話しを地域医療に活かしたい」など、多数の感想が寄せられました。当センターでは皆さまから頂いたご意見を参考に、働き方の多様性やキャリアについて、今後も話題提供ができればと考えております。



小形幸代先生 センター活動状況についてのご講話の様子



鈴木美奈先生ご講話の様子
飾らない先生のお人柄がにじみ出ています



参加者聴講の様子：皆さん真剣に聞き入っています

【 開催内容 】

- ① 開会あいさつ、講師紹介

循環器内科学/講師 小形幸代先生

- ② 医師・研究者キャリア支援センターのこれまでの活動状況について

循環器内科学/講師 小形幸代先生

Jichi Joy Café
～これまでの活動について～

医師・研究者キャリア支援センター 小形幸代

第1、2回 JJC

ワールドカフェ
「明日の自治医大女性医師・研究者への処方箋」

第2回 JICHI JOY CAFE
日時：11月22日(水) 12:15~13:30
場所：医師・研究者キャリア支援センター-内会議室
「女性医師・研究者の働き方」

ワークライフバランスに関する日ごろの悩みについて活発な話し合いが持たれました。
職場での働き方と働きやすさについて、働きやすくするためにはどうしたらよいか。情報交換と日頃の思いや悩みについて話し合いました。

第3回 JJC

第3回 Jichi Joy Café
日時：平成29年3月10日(金) 12:15~13:30
場所：医師・研究者キャリア支援センター-内会議室
「自治医大女性医師・研究者のキャリアって？」

解剖学部門教授 野田泰子先生
皮膚科学講座教授 小宮根真弓先生

お二人より大学病院における女性医師・研究者のキャリアについての実体験を基にご講演頂きました。
和やかな雰囲気の中、多くの意見を頂き、活発な情報交換をすることができました。

第4回 JJC

第4回 Jichi Joy Café
～キャリアを継続させるノウハウ～

「キャリア継続困難に直面した時」と題して、臨床の立場、研究者の立場からお二人の先生にご講話を頂きました。
・ 実験を基に得たキャリア継続のノウハウやご意見は大変説得力のあるもので、これからのキャリア形成を考える学生やキャリア継続に不安をお持ちの方々にとても参考となりました。

第5回 JJC

第5回 Jichi Joy Café
ダイバーシティの推進について考えましょう～

男性の講師をお招きして、男性の視点から継続して働くノウハウについて貴重なお話を伺うことができました。
上田先生からは家族の介護に正面から向き合いながらも医師としての勤務を継続されたお話や、医局内での女性医師の働き方の工夫について講話頂きました。

第6回 JJC

第6回 Jichi Joy Café
産婦人科学 教授 藤原寛行先生

①現状を知る
②お互いがお互いの立場を尊重する
③歩み寄る(対立構造を作らない)

居心地よく仕事を継続出来る環境作りに力を入れている。

第7回 JJC

第7回 Jichi Joy Café
「働き方を考える。In The Jichi」

自治医科大学附属病院 病院長 佐田尚宏先生
・ 消化器外科医局における働き方の多様性の紹介
・ 自分のやりたい事を実現するために、同僚のやりたい事にも協力を。
・ 自分のやりたい事をする中で、モチベーションが維持できる

病院長と話そう!!
「働き方と働き方の多様性(ダイバーシティ)」

第8回 JJC

第8回 Jichi Joy café
小児泌尿器科 助教 川合志奈先生

「働き方を考える。In the Jichi」
上川、病院スタッフ、患者さん、ご主人、息子さんなどこれまで関わった男性を『王子様』と認定してどんどん巻き込んでいきプロフェッショナルな道のりを形成された生かさに感銘を受けました。
家族のコミュニケーションの取り方、主夫の引き出し方など、とても参考になりました。

第9回 JJC



第9回 Jichi Joy café

日 時：2月1日(金) 18:00-19:00

場 所：自治医科大学 第5号館 505号

講師：保健センター 教授 小川真規先生

参加費：医師・研究者・学生

「働かざる者食うべからず」

「働かざる者食うべからず」

保健センター 教授 小川真規先生

当院の産業界でもある小川先生に出生・育児を中心とした家庭と就労の両立を中心にお話し頂きました。

育児支援の制度は整っていますが、まだまだ大変な現実があります。変えていくには「声を上げることが大切!」。

支援と貢献は対価関係にあることを理解し、支援に感謝する気持ちを持つことが大切。

第10回 JJC



第10回 Jichi Joy café

日 時：7月12日(金) 12:30-14:00 (お昼休み)

場 所：自治医科大学 第5号館 505号

講師：保健センター 教授 小川真規先生

参加費：医師・研究者・学生

「働かざる者食うべからず」

「お互いを理解しあう」にはコミュニケーション、環境・体制作りが大切と意見が多かったです。

上司から部下への声かけや定期的な面談で、お互いの距離が近づき理解し合えるのではないかと。

医員など部署ごとに取り組みの差があることもわかりました。

医師・研究者キャリア支援センター

就業継続支援・復職支援

就業継続のための就業の在り方や復職を希望する医師等の技能研修についての調整を支援します。

育児支援

自治医科大学に勤務するお子さんのいるお父さん、お母さんのための一時託児、病児保育(条件付)、夜間保育等多様なサポートを行っています。



医師・研究者キャリア支援センター

内線：2445
mail: career.support@jichi.ac.jp

保健ルーム「あいのり」

内線：2445
電話：0285-59-7572

③ 講演テーマ：「医療人としてのキャリアビジョンを考える」

新潟大学地域医療教育センター 魚沼基幹病院 鈴木美奈先生

<一部抜粋>

本日の話の内容

- 1、私が夢をかなえるまでの道のり
- 2、国境なき医師団とは
- 3、ファーストミッション アフガニスタン
- 4、セカンドミッション ナイジェリア
- 5、サードミッション エチオピア
- 6、日本の病院と国境なき医師団の両立
- 7、これから世界に羽ばたく あなた達に伝えたいこと

私が夢を叶えるまでの道のり

国境なき医師団として働くまでの道のり (医師編)

- 1、医師免許取得
- 2、臨床経験を積む
- 3、書類申請(英語)
- 4、面接(英語)
- 5、登録
- 6、Welcome Days という派遣前講習を受ける(2日間)
- 7、派遣場所が決まり、MSF事務局より連絡がくるのを待つ
- 8、派遣

国境なき医師団 日本事務所での事前講習



© Mina Suzuki / MSF

まず、国際大学で英語の勉強



© Mina Suzuki / MSF

1日のスケジュール

- 7:30 病院到着
- 7:45 モーニングミーティング
回診、診療、手術
- 12:30 ゲストハウスへ戻り 昼食
- 13:30 病院へ
- 14:00~ 診療、講義、ミーティング
- 16:00 日勤終了
- 17:30 移行 順次帰宅
- 19:00 夕食
- 21:00 就寝

手術室とリカバリールーム



© Mina Suzuki / MSF

ナイジェリアの手術室



© Mina Suzuki / MSF

ごはんはこんな感じ



© Mina Suzuki / MSF

グローバルに生きていくために必要なこと

- ★ 適応力
- ★ 体力
- ★ コミュニケーション力
- ★ 英語力
- ★ 感謝の心
- ★ ぶれない自分

現地の医師達



© Mina Suzuki / MSF

人間は一人では何もできません！



© Mina Suzuki / MSF

夢って、願ってがんばれば 本当に叶うんだ！



© Mina Suzuki / MSF



© Mina Suzuki / MSF

以下に、参加者の皆様からのご意見を掲載いたします。

≪原文のとおり記載≫



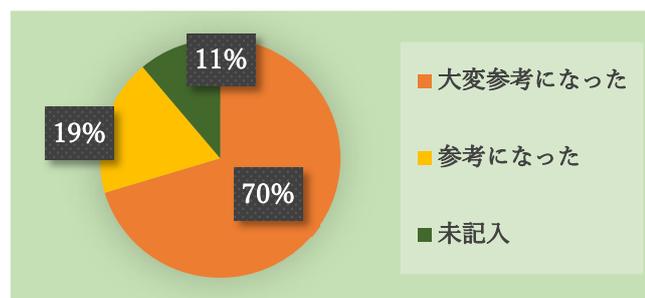
第11回 Jichi Joy Café アンケート



アンケート有効回答数 27/31 (72.9%)

Q1. 本日の内容についてご感想をお聞かせください。

- (1) 大変参考になった 19人
- (2) 参考になった 5人
- (3) どちらでもない 0人
- (4) 参考にならなかった 0人
- (5) 全く参考にならなかった 0人
- 未記入 3人



Q2. 講話のご意見、ご感想をご記入ください。

- ①医学部を目指したきっかけの一つである国境なき医師団の話が聞けて、とてもためになった上に、48歳ではじめて派遣されたというお話をきいて、あせる必要はないのだと不安も解消することが出来た。
- ②海外で仕事をすることに興味があり参加したのですが、非常にためになる内容でした。
- ③国境なき医師団への応募を決めた段階で英語が苦手だったという話が励みになった。
- ④最近、なかなか勉強に対するモチベーションが上がらない中で、先生の貴重な体験に刺激を受けました。
- ⑤大学にいと海外で働いている人の話を聞く機会がめったにありません。写真と体験談をきけて良い刺激になりました。
- ⑥国境なき医師団に参加経験のある方からの生の声をきかせていただき、大変貴重な会でした。私も見習ってアグレッシブに生きていきたいです。
- ⑦大変参考になった。
- ⑧貴重なお話を聞く事ができ、感謝しています。
- ⑨グローバルなお話で、夢を与えていただきました。
- ⑩とても楽しく聞かせていただきました。
- ⑪国境なき医師団に小さい頃から興味があったのですが、医学部に入って医師との両立がむずかしい事なのではと思っていました。今回の講話を聞いて、両立が現実的なものなのかもしれないと考えました。本当にありがとうございました。
- ⑫医療行為以外にも多くの仕事がある事がわかりました。先生の度胸を見習って、私も小さい頃からの夢を叶えたいと思いました。初めて国境なき医師団の先生のお話を聞き（今までは本しか経験を手に入れる手段がなかったの）すごく貴重な経験となりました。ありがとうございます。
- ⑬まだ学校で座学ばかりであるが、実際の臨床の場でのお話を聞く事ができ、非常に興味を掻き立てられた。
- ⑭実際の写真を見ることができ、とても新鮮だった。
- ⑮外国で仕事をしていくことは、準備と勢いと供方いると思いました。
- ⑯自分も似た思いで幼少期を過ごしました。まさに先生と同じようなキャリアを心のどこかで目指しています。自分の夢がとても身近に感じられました。ありがとうございました。
- ⑰とてもタメになる話で、本当に感動しました。私も国境なき医師団に憧れていて、ますます入りたい気持ちになりました。

- ⑱先生の一生懸命生きる姿に感動した。
- ⑲現場の写真や生の声が聞けてよかった。
- ⑳最初の国で感じたギャップで断念せず次の国に行ったことが大切だったのだろうかと思いました。
- ㉑度胸と体力>英語力 と、聞いてびっくりしました。
- ㉒国境なき医師団のリアルな生活を写真と共に知れてよかったです。
- ㉓鈴木先生の素敵な笑顔が見られて、モチベーションになりました。
- ㉔以前から興味があった国境なき医師団の話がきけてよかった。地域にとどまることを求められる私たちが、"どのように世界に羽ばたくか"という問題の解決方法を1つ教えていただいた。
- ㉕鈴木先生は、現場から離れないで医師団に参加されてラッキーだと思います。ボランティア国フランスでさえ、国境なき医師団難民という言葉も伺っておいりましたので。当院の看護部では、許可されませんでした。
- ㉖なかなか聞けないお話を聞く機会があってとてもおもしろいです。

Q3. 今後のご自身のキャリア形成の中で、本日のお話をどの様に役立てたいと感じましたか？

- ①とりあえずまずは英語の勉強をします。
- ②高校の時に学校の企画でスイスのジュネーブへ行き、WHOを訪れた事がありました。その時から、海外で医療関係の仕事にたずさわることへの憧れがありましたが、海外を訪れる機会はあるのですが、英語でのコミュニケーションをとる事に自信がないことからほとんど将来海外で働く事を諦めかけていました。しかし、先生が40代で初めて海外へ行かれたと話を伺いまだ諦めるには早い、全く不可能なことではないと大きな希望ができました。まだ将来具体的に何をやりたいかは決まっていないですが、とても将来のことを考える上で参考になりました。ありがとうございました。
- ③自分の目標をしっかりとって、少しながらもそこに向かって諦めず進んでいきたい。
- ④国境なき医師団を具体的にイメージできました。
- ⑤英語を今のうちから学んでいきたいです。
- ⑥海外の現場(特に資源の限られた現場)で、どう行動するかをへき地医療に活かしたい！
- ⑦英語を勉強しようと思いました。
- ⑧学生のうちに語学をがんばりたいと思いました。
- ⑨将来自分が行う地域医療とつながる部分もあり勉強になった。
- ⑩将来自分も参加したい。英語勉強します。
- ⑪英語がんばりたいです。
- ⑫学生時代に、海外へ行ってみようと思いました。
- ⑬私は非医療者なのですが、応募してみたいと思った。
- ⑭学生時代に英語をやっておいた方がよいということ。
国際医療の人間愛や家族愛を人生の中でも大事にしていきたいこと。
- ⑮多産社会の方が家族愛が強いという話は意外ではあったが、当たっているのではないかという気もした。
- ⑯何才になっても夢はあきらめない。それを大切にしたいと思います。
- ⑰英語力をさらに高めて、義務年限後にMSFに参加することを決めました。
- ⑱地域医療に活かせる部分もあるし、両立もできそうだと感じたので、国境なき医師団やその他の地域貢献活動もやってみたいと思う。
- ⑲ジェネラリスト大事なんですね。

Q4. 次回の「Jichi Joy Cafe」へのご意見、ご要望等をお聞かせください。(講話テーマ、開催時間 等々)

- ①ぜひ参加したいと思いました。
- ②自治卒の先輩方からの講話。
- ③時間も丁度よくお話しも有意義だと思いました。
- ④日本のへき地で働く医師のお話を聞きたい。
- ⑤色々な働き方をしている方を呼んで話をうかがい、多様性が認められるような方向に持っていくのが良いと思います。

- ⑥もう一度国境なき医師団の方の話を聞きたいです。帰国後の生活、家族を養えるだけのお金をいただけるとかなど、自分の生活の話を聞きたいです。
- ⑦本日はありがとうございました。次回も楽しみにしております。

Q5. 医師・研究者キャリア支援センターへのご意見、ご要望等ございましたらご記入ください。

- ①とても良かったです。
- ②学部生にきてもらうのは、良い考えだと思います。(テストのない学期の開催)

参加者集合写真



鈴木美奈先生大変貴重なお話しを有難うございました。
先生の益々のご活躍を栃木の空からお祈りしております♥

自治医科大学 医師・研究者キャリア支援センター関係者及び聴講者一同